



2020年1月31日

スマホ決済サービス『こいPay』の取扱開始について

株式会社広島銀行(頭取 部谷 俊雄)は、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社(代表取締役社長 相浦 一成)が提供する「銀行Pay」の基盤システム利用し、2020年6月を目処に、スマホ決済サービス『こいPay』の取扱いを開始しますので、お知らせいたします。

記

1. サービス名称

「こいPay(COI Pay)」



※商標登録出願中

広島城の別名「鯉城^{りじょう}」、福よ「来^{こい}い」、「Change! Our internet Payments」などをかけた名称とし、ひらがなの「こい」とも、欧文の「COI」とも読めるよう視覚化したロゴタイプとしました。

2. サービスの主な特長(サービスご利用のイメージは別紙をご参照ください)

「銀行Pay」の基盤システムを利用し、QRコードで決済する広島銀行独自のスマホアプリ決済サービス

(1)個人のご利用者さま

- ・ 買い物代金等が銀行口座から即時に引落としされるため、事前チャージやクレジットカード登録が不要
- ・ 多くのセキュリティ対策が施されており、安心・安全
- ・ 同基盤システムを利用する銀行間の相互連携(※1)により、以下の「銀行Payステッカー」が掲示された全国の店舗での利用が可能

【銀行 Pay ステッカー】



(※1)相互連携対応の銀行…各行が提携する加盟店で利用していただけます

銀行名	サービス名称
横浜銀行	はまPay
ふくおかフィナンシャルグループ(福岡銀行・熊本銀行・親和銀行)	YOKA! Pay
ゆうちょ銀行	ゆうちょPay
沖縄銀行	OKI Pay
ほくほくフィナンシャルグループ(北陸銀行・北海道銀行)	ほくほくPay

(サービス導入順)

(2)加盟店さま

- ・ 専用端末が不要で、最短翌営業日に売上代金が入金
- ・ クーボンの配信やお知らせの通知など、プロモーションが可能

3. サービス開始時期

2020年6月(予定)

4. その他

(1) 店舗での専用端末が不要であるなどの特長を活かし、地元イベントでの決済インフラの提供等により、地域キャッシュレスの進展に貢献してまいります

(2) こいPayでの「マイナポイントによる消費活性化策」(※2)への対応も検討しています

(※2) マイナポイントによる消費活性化策

- ・総務省が東京オリンピック・パラリンピック後の消費を下支えする観点から実施する予定の事業
- ・実施期間は2020年9月から2021年3月(予定)
- ・5,000ポイントを上限に、決済額の25%のマイナポイントが付与される
(詳細は総務省のホームページをご覧ください)

【参考】GMO ペイメントゲートウェイ株式会社の概要

所在地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス
事業内容	総合的な決済関連サービスおよび金融関連サービス
代表者	代表取締役社長 相浦 一成
資本金	47億12百万円(東証一部上場)

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社広島銀行 デジタル戦略部
TEL (082)247-5151(代表)



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

■ご利用者さま向けアプリ/加盟店さま向けアプリの概要

ご利用者さま向けアプリ  



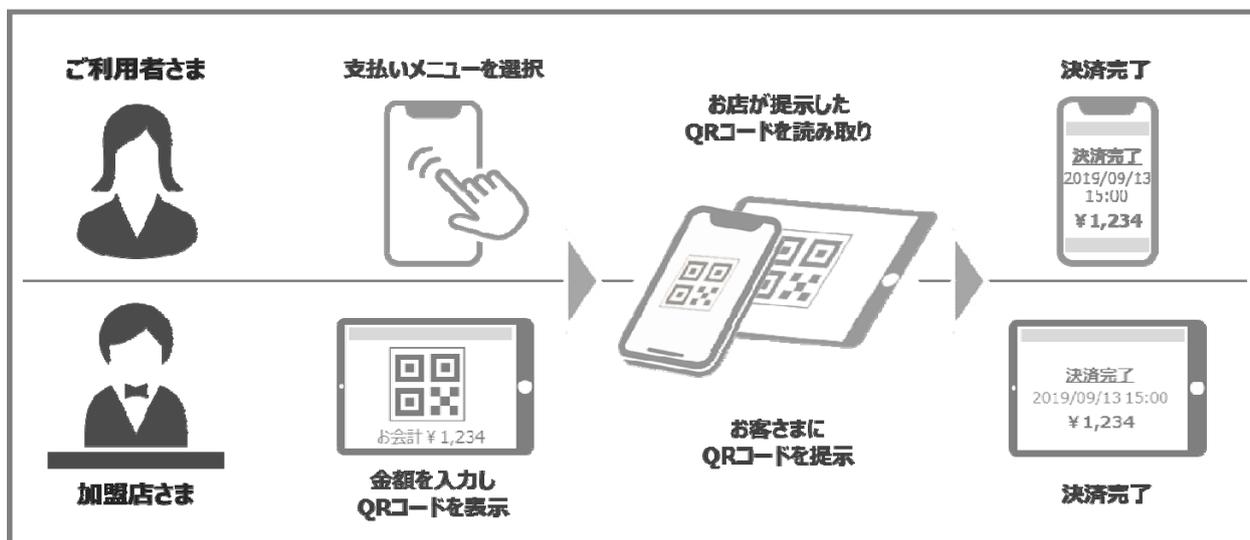
- 使えるお店をアプリで検索
- アプリの操作だけで簡単決済、代金は登録した預金口座から即時に引落し
- お店が発行するスタンプやクーポンをGET

加盟店さま向けアプリ  



- アプリを通じてお釣りいらずの簡単決済、売上金は最短翌営業日に入金
- 売上金や決済履歴はアプリ上で管理
- クーポンやスタンプの発行、お知らせのプッシュ通知も可能

■サービスご利用のイメージ(加盟店側が表示したQRコードを、利用者がスマホアプリから読み取る方式)



※利用者のスマホに表示された QR コードやバーコードを加盟店側で読み取る方式等もございます